

# 市史編さんだより

## 第6回

『新編 桐生市史』編集委員  
民俗部会長  
永島 政彦  
ながしま まさひこ

### 「賀茂神社の御篝神事」みかがり

桐生市には、多くの伝統的な祭礼や行事が残されています。広沢町六丁目の賀茂神社で毎年2月3日の節分に行われる御篝神事もその一つです。御篝神事は「賀茂の火投げ」ともいわれ、境内で東西に分かれた若者が、火のついた薪を投げ合う勇壮な行事で

す。

神事はまずお焚き上げから始まります。境内の注連縄を張った一角に、各家から持ち寄った正月飾りや古いお札、だるまなどを小正月のどんど焼きのように積み上げます。参拝者は名前と年齢を書いた紙の人型を供え、神官が祈とうをした

後、火を付けます。人型を燃やすことで厄を払うといわれています。

このお焚き上げの火を種火として、薪に火を付けます。この薪は数日前に山から切った生の木です。しばらく火にくべると、炭となつてくすぶるような状態になります。この薪を、若者が太鼓の合図で投げ合います。暗い夜空に光が尾を引くように飛び、地面に落ちると火の粉が飛び散ります。火や火の粉には災いや魔を払う力があるといわれます。



お焚き上げの様子



火の付いた薪を投げ合う若者たち

御篝神事は、地域の住民たちが息災な生活を願って、今日まで受け継いできた行事であり、平成3年に桐生市指定重要無形民俗文化財になりました。民俗部会では、地域の伝統的な行事や祭礼を調査していきたくと考えています。  
問い合わせ 市史編さん室  
(☎477335)

### パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505）へ。



おかべ しんのすけ  
岡部 真乃介ちゃん  
1歳4か月  
(菱町二丁目)



しまだ まゆと  
島田 真結人ちゃん  
10か月  
(境野町四丁目)



いしはら せな  
石原 聖那ちゃん  
3歳10か月  
(川内町一丁目)

広告